

2023年度 学校自己評価

重点目標	重点取組	評価結果	自己評価
学校運営	教育理念・スクールポリシーの実践	教職員一人ひとりが、本学の教育理念である「個性豊かな人材を育成し、生徒の希望溢れる未来を創造」に則り、「誰一人見捨てない、あたたかみのあるネット高校として、一人ひとりの今と未来を支える教育」を実現するため、少人数の担任制度によるきめ細やかな教育とサポートを実施した。	A
	保護者との連携	保護者との連携を図るため、電話や郵便はもとより、メール、ホームページ、Microsoft Teamsなどを活用するとともに、説明会等で学校に参集が難しい家庭に対しては、Zoomでの参加を呼びかけるなど、多種多様な手段を用いて連携を図った。 また、学習の進捗が捗らない生徒に対しては、教員が家庭訪問を行い保護者との面談や相談を受けるなど、きめ細かい対応を行った。	A
	教員研修・採用の充実	学内において教員同士の模擬授業を行うとともに、新任教員に対する先輩教員のOJTによる研修を実施 また、新たに8名の教員を採用し、円滑な学校運営と教科教育の一層の充実を図った。	B
教育内容	学習指導体制の強化	毎月定期的に担任面談を行うとともに、学生生活を全教職員でサポートする「ラーニングパートナー制度」を通して、生徒一人ひとりに対しきめ細やかな学習指導が実施できた。 また、自学自習のリズムが掴みにくかったり、体調不良等によりレポート提出が遅れた生徒に対して、レポート作成強化週間を設けるなど、学習指導の強化を図った。	A
	教育課程の充実	特色ある教育の充実に資するため、教育課程表に「医療基礎」の学校設定科目を設け生徒の進路決定の充実に図るとともに、反転教育を積極的に行う本校の教育方針に即した「国語表現」を追加するなど、教育課程の充実に係る所要の改正を行った。	B
	キャリア教育の実施	進路選択能力や勤労観・職業観を育成するため、希望者に対しインターンシップの実施機会を確保し、職業適正や将来設計について考える機会を与えるとともに、社会人としてのマナーや地域社会の一員としての認識等を学習させることができた。	B
生徒支援	進路支援の強化	生徒の進学先の選択肢を充実させるため、大学等の指定校推薦校認定の獲得に努め、39校から認定を受けることができた。 また、就職を希望する生徒に対応するため、職業安定法第27条の規定に基づき、公共職業安定所の行う求職者の紹介や職業指導の業務を分担する同意書を取り交わし、生徒に対する就職支援の体制を整えた。	A
	生活サポートの充実	毎年行う面接指導（スクーリング）等における、生徒・保護者の利便性の向上や経済的負担の軽減等を図るため、新たに大阪会場、福岡会場の2会場を設けるための改正を行った。 また、学業・一芸に秀でた生徒及び学習意欲が特に高い者でありながら、経済的な理由により修学が困難な生徒に対し経済的な支援を行い、社会貢献ができる優秀な人材を育成するための奨学金制度を設け、学生生活の充実を図った。	A
	健康管理等の徹底	年々高温化する自然環境下における熱中症等への対応として、石垣島本校において老朽化した空調設備の更新を行い、教育環境の整備・充実を図るとともに、スクーリング時における体育授業等の実施についても、その日の状況に応じた適時適切な対応を行った。 また、不審者等への対応など学校の危機管理の一環として、石垣島本校、東京校、神戸校の各校舎に防犯カメラを設置し、生徒の登校時における安全管理の充実を図った。	B

評価基準：A=適切 B=ほぼ適切 C=ほぼ不適切 D=不適切